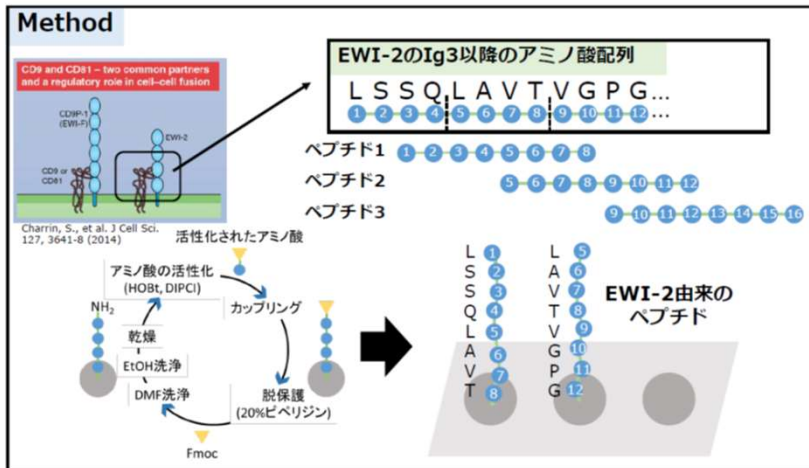


がん細胞遊走阻害作用を有する CD81結合ペプチド

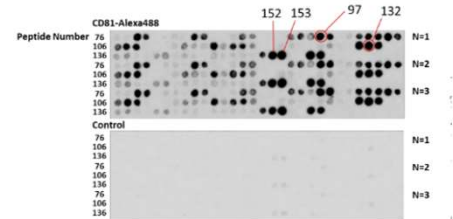
【発明の概要】

膜タンパク質であるEWI-2の部分ペプチドのライブラリーのスクリーニングにより見出された複数の**CD81結合ペプチド**が、**癌細胞の遊走を抑制**することが明らかとなった。

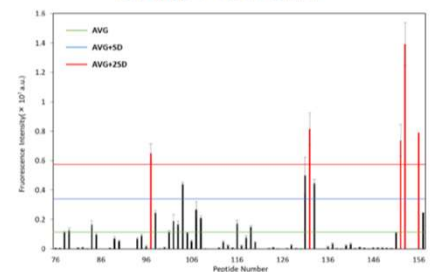
CD81結合ペプチドの探索



メンブレンの蛍光画像

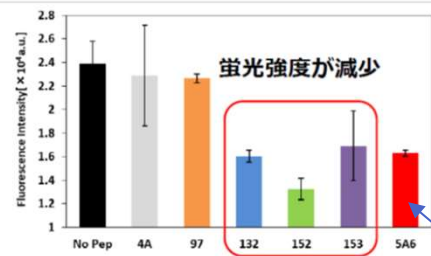
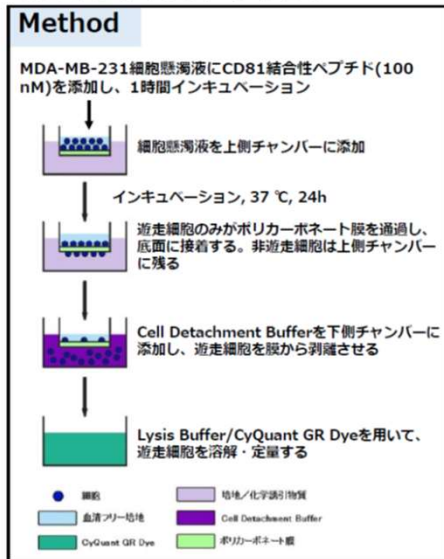


各スポットの蛍光強度



がん細胞の遊走抑制作用の検討

ボイデンチャンバーアッセイ



P132, P152およびP153で蛍光強度がネガコンより低くなっていることを確認

CD81抗体

CD81結合性ペプチドの候補ペプチドががん細胞の遊走を抑制することを示唆

本技術のアピールポイント

がん細胞の遊走に対してCD81抗体に匹敵する阻害作用を有する。
抗体で見られる血球系細胞の凝集による副作用の懸念がない。



Tokyo Tech

お問い合わせ先:

東京工業大学 研究・産学連携本部

E-mail: yasumatsu@sangaku.titech.ac.jp

TEL: 03-5734-7634 URA 安松 浩

用途分野

医薬品

特許情報

発明の名称 CD81結合性ペプチド及びその使用
発明者 大河内美奈、田中祐圭
出願番号 2022-030632 (2022/03/01出願、未公開)
本学整理番号 21T184